



今回は、1 年 4 組のフィールドワークの報告をします。

◇ 私たち 1 班は関市役所を訪問しました

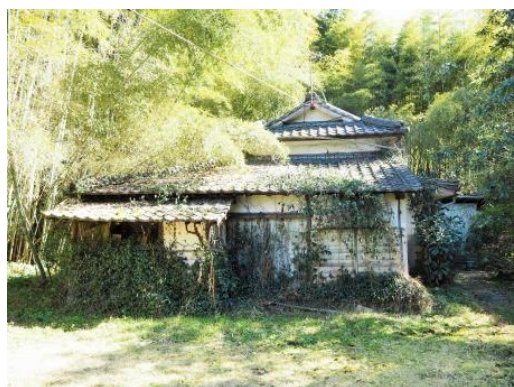
研究テーマ：空き家の可能性は無限大

日 時：2019 年 8 月 7 日(水) 10:00 ~ 12:00

訪問先：関市役所

参加者：井上颯香 川原稜太 須甲彩仁香 長屋和樹 古田凌久 山下愛奈

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



私たちは、今、関市で起きている空き家問題についてさらに深く調べるために、関市役所に訪問した。市役所への訪問を通して、関市は今、様々な空き家問題が起きていることが分かった。例えば、少子高齢化に伴った空き家の増加だ。現在日本は少子高齢化が進んでおり、関市もその問題に悩まされている。これによって家を管理する人が減り、結果、空き家の増加につながっている。

次に私たちは、空き家が増えることで起こる問題について尋ねてみた。まず、これにより、草、木、ゴミが増え、その地域の環境が悪化すること、犯罪者が住み着き、治安の悪化につながることで、倒壊によって道をふさいでしまう、人にケガをさせる危険性などがあり、近隣住人に迷惑をかけることがあるそうだ。

これらの話を聞いて、私たちはなぜ壊さないのかと疑問に思った。すると、一般的な家が空き家と認められるまでには様々な手順を踏む必要があることが分かった。また、空き家と認められてからでも所有者の承諾が得られない、所有者の所在が分からないなど、簡単に取り壊すことができないそうだ。なぜ所有者の承諾が得られないのかというと、家を取り壊すことによって、固定資産税が最大 6 倍になってしまい、費用がかかるという面で承諾を得ることができない。つまり、「壊したいから壊す」ということができず、一方的に空き家が増えていくそうだ。

そこで私たちは、関市が空き家に対してどのような取り組みを行っているのか尋ねてみた。すると、「空き家バンク」という取り組みが行われていることが分かった。「空き家バンク」とは、自治体が定住促進のために空き家を紹介する制度である。分かりやすく言えば、自治体家が家を探している人に空き家を紹介し、空き家を減らすことを目的とした制度、いわば不動産の空き家版である。また、「空き家を取り壊したいけどお金がなくて取り壊せない！」という人のために市から補助金が支給される、という制度がある。このように、関市は、空き家問題を解決するために様々な取り組みをしていることが分かった。しかし、実際のところあまり根本的な空き家問題解決には至っていないようだ。

今回のフィールドワークを通して、関市の空き家問題について、そしてそれに対してどのような取り組みを行っているのかが分かった。空き家問題は、私たちのまわりの環境、生活にも深く関わってくる。だから、他人事だと考えずにこの問題に対して真摯に向き合っていきたい。

11 住み続けられる
まちづくりを





今回は、1 年 4 組のフィールドワークの報告をします。

◇ 私たち 2 班は関鍛冶伝承館を訪問しました

研究テーマ： 関と刃物

日 時： 2019 年 8 月 10 日(土) 10:00 ~ 12:30

訪問先： 関鍛冶伝承館

参加者： 井上寧々 河村達輝 酒井田祐奈 田代温人 春田智哉 松村康平 村瀬日菜

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



私たちは、関鍛冶伝承館を訪問し関市の刃物の歴史や刀の製造過程、刀鍛冶の現在の様子、海外での刃物の需要についてお話を伺いました。

関市の刃物が深い歴史と伝統を持ち、長い年月が経った今でも関市の主要産業となっていることから、私たちは刃物と関市の深い関係を知りました。

これらの関市の魅力を私たち関市民が再認識し、PR していくことで関市の更なる発展が期待できると思いました。

11 住み続けられるまちづくりを



◇ 私たち 3 班は関鍛冶伝承館を訪問しました

研究テーマ： アニメと刃物の融合

日 時： 2019 年 10 月 12 日(土) 13:00 ~ 14:30

訪問先： 関鍛冶伝承館

参加者： 伊藤彩加 上村挑 梅村祈穂 江見美華 金子七彩 木村陽向 花村諒真

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



関鍛冶伝承館には、日本刀やその製造工程・歴史に関する様々な資料が展示されていました。また、カスタムナイフ作家のコレクションや近現代の刃物製品が展示されていました。

展示物の中には、映画「スター・ウォーズ」に登場する武器「ライトセーバー」をモチーフにした刀が展示されていました。

また、関市は「訪れてみたい日本のアニメ聖地」に認定

されていました。これからもアニメを通して関市を多くの人に知ってもらいたいです。

11 住み続けられるまちづくりを





今回は、1 年 4 組のフィールドワークの報告をします。

◇ 私たち 4 班はモネの池を訪問しました

研究テーマ： 関市にディズニーランドを！！

日 時： 2019 年 8 月 4 日(日) 10:00 ~ 15:00

訪問先： モネの池

参加者： 上野 誠太、大下 幸来、河合 美里、羽田野 晃祐、古田 伸太郎、堀江 美空

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



今回のフィールドワークで知ったのは、意外にも外国人観光客の姿が多いということです。また、関市にしかない景観を生かした観光地づくりがされていました。そして、SNS を通してモネの池を知った、という意見が多いこともわかりました。

改善すべき点は、宣伝活動が広く行われていないことです。しかし関市には知られざる観光地がたくさんあります。また、観光地同士の距離が遠いということもあります。そこで私たちは、「関で冒険」をコンセプトに PR することを提案します。

完全に新しいものよりも、関ならではの自然を生かす
SNS を利用し、世界を意識した PR を行う

関を国内だけでなく、世界を相手にした観光地に！



◇ 私たち 5 班は刃物会館を訪問しました

研究テーマ： 外国人とのコミュニケーション

日 時： 2019 年 8 月 6 日(火) 9:00 ~ 9:30

訪問先： 刃物会館

参加者： 足立和樺 加藤美月 小森弘貴 多田絢美 田村昌工 長島千紘 松田颯

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



私たちはこの活動を通して、関市ではタブレットなどを導入して外国語に対応したり、少しでもコミュニケーションによる誤解をなくすために Taxfree といわれる免税制度を設けたりしていることがわかりました。しかし、まだコミュニケーションにおける対応が不十分であるということもわかり、このままではダメだと考えました。

そこで調べた結果、外国人が特に多く訪れる刃物祭りでは、英会話ボランティアが活動を行っているを知りました。それを受けて、このボランティアへ参加することで、自分たちでも外国人とのコミュニケーションに貢献することはできるのではないかと考えました。

